

付録-5 詳細点検報告書作成要領

目 次

	ページ
1. 【門型標識等】点検表（施設諸元）	1
2. 【門型標識等】点検表（点検結果票）	2
3. 【門型標識等】点検表（損傷記録票）	3
4. 【門型標識等】写真台帳	4
5. 【門型以外の標識等】点検表（施設諸元）	6
6. 【門型以外の標識等】点検表（点検結果票）	7
7. 【門型以外の標識等】点検表（損傷記録票）	8
8. 【門型以外の標識等】写真台帳	9
9. 【共通】E判定会議調書	11

(門型標識等)

点検表 (施設諸元)

・本市DBより、引用すること。

種別	道路標識	管理者	大阪府建設局 市岡工務所	管理番号	88-6-15-106-104
■ 位置情報				整理番号	

道路種別	一般国道 (指定区間外)	路線名	国道25号	上・下別	下り
所在地	大阪市 中央区 久太郎町3-6			距離標 (km)	
緯度	34° 40' 50.0"	経度	135° 30' 02.0"	備考	

■ 構造情報

支柱形式	門柱式(オーバーヘッド型)	表面処理形式		塗装式		基礎形式		埋め込み型	
支柱基部 リブ形状	三角リブ	路面境界部の 状況		コンクリート		灯具種類			—
標識設置枚数 及び標識番号	1	106-A	標識板の 取付形式	固定式	標識板の落下 防止対策	今回実施 (全部)	落下防止ワイヤー設置		
ゆるみ止め 対策の有無	無		合いマーク	今回実施 (全部)	制震装置 の有無	無			
柱基部排水性 向上対策	有	柱基部に排水勾配を設置済	設置年月	1988年	備考		占用物件なし		

■ 設置環境情報

設置環境	一般部	海岸からの 距離	1km ~ 5km 未満	融雪剤 散布区間	該当しない	風規制 実施区間	該当しない
防雪対策 実施区間	該当しない	センサス 年度	平成27年度	センサス 区間番号	27300250360	交通量	48,656 台
車道幅員 (m)	13.0	歩道幅員 (m)	5.5	緊急輸送道路 指定の有無	一次	通学路指定 の有無	

■ 点検情報

点検種別	定期点検 (詳細)	点検方法	近接目視	点検年月日	2020年 1月 10日	前回 点検年月日	2014年 12月 11日
点検員 (所属・氏名)	株式会社 ●●●●		●● ●●	備考		・位置図、全景・地際部写真を貼付	

更新履歴	無	前回設置年月	—
------	---	--------	---



注1: 緯度・経度については、世界測地系で0.1"単位まで記入する。

注2: 距離標、センサス(年度、区間、交通量)については、ある場合に記入する。

点検年月日：2020年1月10日

※2：点検表は、各道路管理者の判断により、門型標識等について詳細点検を実施する場合の様式として使用できるように作成したものである。

点検表（損傷記録票）門型標識等

点検年月日 2020年1月10日

種別	道路標識	管理者	大阪市建設局 市岡工営所	管理番号	88-6-15-106-104
				整理番号	

■ 損傷程度の評価および措置（応急含む）

部材名称		・管理番号には、本市DB記載の建植番号を記載すること ・整理番号には、本市DB記載の各区ごとの通し番号を記載すること										
損傷程度 の評価	部材判定	鋼部材						コンクリート部材		共通		
		亀裂	ゆるみ・脱落	破断	防食機能の劣化	腐食	異種金属接触腐食	変形・欠損	ひび割れ	浮き・剥離	滞水	その他
	点検時評価	a	e	a	a	c	a	a				c
	措置後評価											
措置 (応急含む)	実施内容		・点検表（点検結果票）に記載する部材単位ごとに本調書を作成すること									
	未実施	理由										
		予定時期										
		予定内容										
特記事項		・点検時に措置を施した場合は、下段にも評価「a」（健全）を記入すること。										



横梁取付部（東側）



横梁取付部（東側）



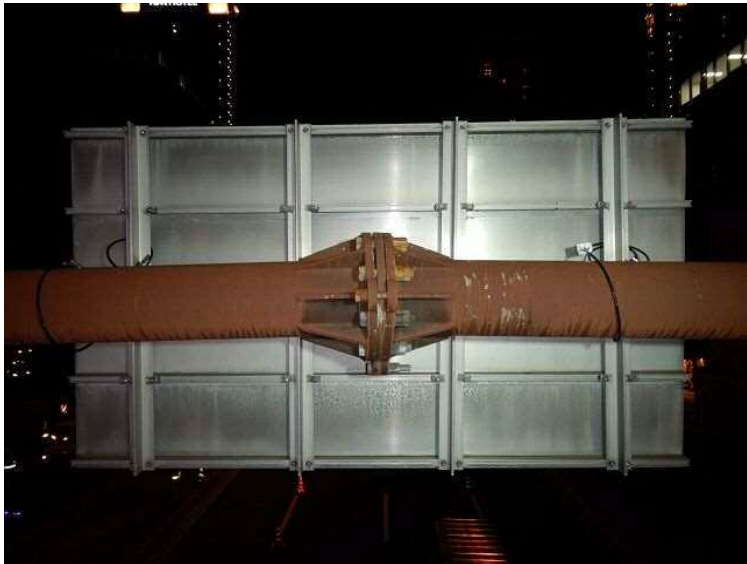
横梁取付部（西側）

・上記で健全（a）以外の判定を下した根拠となる写真を貼付。

※ 点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成（変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅳと判定された部材ごとに作成する）

写真台帳

撮影年月日：2020年 1月 10日

種 別	道路標識	管理番号	88-6-15-106-104
		写 真 番 号	1
		撮 影 部 位	全景
・本台帳は、全景～損傷状況までの一連の状況が分かるように貼付すること。			
		写 真 番 号	2
		撮 影 部 位	標識板 表面
		備 考	
		写 真 番 号	3
		撮 影 部 位	標識板 裏面
		備 考	

写真台帳

撮影年月日：2020年 1月 10日

種 別	道路標識	管理番号	88-6-15-106-104
設置無し	写 真 番 号 : 4		撮 影 部 位 : 管理シート
	備 考		
	写 真 番 号 : 5		撮 影 部 位 : 建植シート
	・管理シート、建植シートの撮影は全て行うこと。 ・その他、地際部の掘削等の状況、安全管理など、各ポイントとなる状況の写真は必ず貼付すること。		撮影年月日：2019年11月9日
	写 真 番 号 : 6		撮 影 部 位 : 建植シート貼替え
	備 考		

(門型以外の標識等)

点検表 (施設諸元)

・本市DBより、引用すること。

種別	道路標識	管理者	大阪市建設局 中浜工務所	管理番号	89-3-28-108-001
■ 位置情報				整理番号	

道路種別	一般国道 (指定区間外)	路線名	国道479号 (内環状線)	上・下別	下り
所在地	大阪市 旭区 新森6-2	距離標 (km)			
緯度	34° 42' 59.5"	経度	135° 33' 38.1"	備考	

■ 構造情報

支柱形式	片持式（F型）		表面処理形式	塗装式＋亜鉛めっき式		基礎形式	ベースプレート型	
支柱基部 リブ形状	三角リブ		路面境界部の 状況	コンクリート		灯具種類	－	
標識設置枚数 及び標識番号	1	108の2-A	標識板の 取付形式	固定式		標識板の落下 防止対策	今回実施（全部）	落下防止ワイヤー設置
ゆるみ止め 対策の有無	無		合いマーク	今回実施（全部）		制震装置 の有無	無	
柱基部排水性 向上対策	有	柱基部に排水勾配を設置済	設置年月	1990年3月		備 考	占用物件なし	

■ 設置環境情報

設置環境	一般部	海岸からの 距離	5km~20km 未満	融雪剤 散布区間	該当しない	風規制 実施区間	該当しない
防雪対策 実施区間	該当しない	センサス 年度	H22	センサス 区間番号	27304790140	交通量	30563 台 / 24h
車道幅員 (m)	17.5	歩道幅員 (m)	4.0	緊急輸送道路 指定の有無	二次	通学路指定 の有無	-

■ 点検情報

点検種別	定期点検 (詳細)	点検方法	近接目視	点検年月日	2016 年 11 月 23 日	前回 点検年月日	2013 年 10 月 18 日
点検員 (所属・氏名)	株式会社 ●●●●		●● ●●	備考			

更新履歴	無	前回設置年月	
------	---	--------	--

・位置図、全景・地際部写真を貼付



注 1 : 緯度・経度については、世界測地系で0.1"単位まで記入する。

注 2 : 距離標、センサス (年度、区間、交通量) については、ある場合に記入する。

点検表（点検結果票） 門型以外の標識等

点検年月日：2016年11月23日

種別	道路標識		管理者	大阪市建設局		中浜工営所		管理番号	89-3-28-108-001													
■点検結果								整理番号														
・点検時に措置を施した場合は、措置後の判定も記入する。																						
部材及び点検箇所			該当	点検	損傷程度の評価																対策の	部材の健全性の診断
					変状の種類																	
					鋼部材								コンクリート部材		共通・その他							
					き裂	ゆるみ・脱落	破断	防食機能の劣化	腐食	異種金属接触腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剥離	滞水	その他							
部材等	点検箇所	記号	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後				
支柱	支柱本体	支柱本体	Pph	有	済	a			a	a	a	a										
		支柱継手部	Ppj	無																		
		支柱分岐部	Ppd	無																		
		支柱内部	Ppi	有	済				a	a	a				a							
	支柱基部	リブ・取付溶接部	Ppr	無																		
		柱・ベースプレート溶接部	Pbp	無																		
		ベースプレート取付部	Pbb	無																		
		路面境界部 (GL-0)	Pgl-0	有	済	a			a	a							-					
		路面境界部 (GL-40)	Pgl-40	無																		
		柱・基礎境界部	Ppb	無																		
その他	電気設備用開口部	Phh	無																			
	開口部ボルト	Phb	無																			
横梁	横梁本体	横梁本体	Cbh	有	済	a			a	c	a	a					-					
		横梁取付部	Cbi	無																		
		横梁トラス本体	Cth	有	済	a			a	a	a	a				-						
	溶接部・継手部	横梁仕口溶接部	Cbw	有	済	a			a	a	a	a					-					
		横梁トラス溶接部	Ctw	有	済	a			a	a	a	a					-					
		横梁継手部	Cbj	有	済	a	a	a	a	a	a	a					-					
基礎	基礎コンクリート部	Bbc	無																			
	アンカーボルト・ナット	Bab	無																			
ブラケット	ブラケット本体	Brh	無																			
	ブラケット取付部	Bri	無																			
標識板	標識板（添架含む）	Srp	有	済	a	a	a	a	a	a	a					-						
	道路情報板		有	済	a	a	a	a	a	a	a					-						
支柱板・継支部	標識板取付部	Srb	無																			
	道路情報板取付部		無																			
その他	その他	ビス・リベット（重ね貼り用）	Srq																			
		バンド部（共架型）	Xbn	無																		
		配線部分	Xwi	無																		
		管理用の足場・作業台	-																			

■ 所見（その他特記事項）

支柱基礎部において排水勾配の設置が見られた。

橋梁本体（上下部）に塗装剥離が見られたが防食機能が失われていないため、施設の健全度評価をⅠとした。前回点検（H25年度点検）から大きな変化なし。

■ 点検予定

点検ができなかった部位	点検予定時期
点検ができなかった理由	点検実施方法

- ・当該標識の健全度が分かるように、点検状況を記載すること。
- ・部位部材の判定の最悪値と施設全体の判定が異なる判定になっている場合は、必ず、その理由を記載すること。

※ 部材の健全性の診断欄のハッチ（濃いグレー）部は、通常では存在しない点検箇所と変状の種類の組み合わせである。

※ 点検調査（例）は、各道路管理者の判断により、大型の道路標識及び道路情報提供装置以外についても定期点検を実施する場合を想定し、共通様式として使用できるように作成したものである。

点検表（損傷記録票）門型以外の標識等

点検年月日 2020年11月23日

種別	道路標識	管理者	大阪市建設局 中浜工管所	管理番号	89-3-28-108-00
				整理番号	

■ 損傷程度の評価および措置（応急含む）

部材名称		・ 管理番号には、本市DB記載の建植番号を記載すること ・ 整理番号には、本市DB記載の各区ごとの通し番号を記載すること										
損傷程度 の評価	部材判定	鋼 部 材							コンクリート部材		共 通	
		亀裂	ゆるみ・脱落	破断	防食機能の劣化	腐食	異種金属接触腐食	変形・欠損	ひび割れ	浮き・剥離	滞水	その他
	点検時評価	a			c	a						-
	措置後評価											
措置 (応急含む)	実施内容											
	未実施	理 由	・ 点検表（点検結果票）に記載する部材単位ごとに本調書を作成すること									
		予定時期										
		予定内容										
特記事項		・ 点検時に措置を施した場合は、下段にも評価「a」（健全）を記入すること。										



横梁本体（上部）



横梁本体（上部）



横梁本体（下部）

・ 上記で健全（a）以外の判定を下した根拠となる写真を貼付。

※ 点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成（変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅳと判定された部材ごとに作成する）

写真台帳

撮影年月日：2016年11月23日

種 別	道路標識	管理番号
		89-3-28-108-001
		写真番号：1
		撮影部位：全景 備考
		写真番号：2
		撮影部位：標識板 表面
		備考
		写真番号：3
		撮影部位：標識板 裏面
		備考

・本台帳は、全景～損傷状況までの一連の状況が分かるように貼付すること。

種 別	道路標識	管理番号	89-3-28-108-001
	写 真 番 号	:	4
	撮 影 部 位	:	管理シート・建植シート
	備 考		
	• 管理シート、建植シートの撮影は全て行うこと。 • その他、地際部の掘削等の状況、安全管理など、各ポイントとなる状況の写真は必ず貼付すること。		
	撮 影 部 位	:	建植シート貼替え
	備 考		
	写 真 番 号	:	6
	撮 影 部 位	:	地際部
	備 考	排水勾配設置済	

E判定会議調書

建植番号	89-3-28-108-001	路線名	国道479号（内環状線）	行政区	旭区	ID	34° 42' 59.5" 135° 33' 38.1"
管理番号		緊急交通路		工営所	中浜工営所	点検年月日	2016 年 11 月 23 日
支柱形式	片持式（F型）	板取付形式	固定式	表面处理形式	塗装式+亜鉛めっき式	建設年	1990年3月

・前回点検時になかった損傷は空白でよい。

・左記写真を補足する図があれば掲載

損傷写真	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日
	前回点検結果	部材名	今回点検結果	部材名
		部材番号		部材番号
		損傷の種類		損傷の種類
		損傷度評価		損傷度評価
		× モ		× モ
	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日
	前回点検結果	部材名	今回点検結果	部材名
		部材番号		部材番号
		損傷の種類		損傷の種類
		損傷度評価		損傷度評価
		× モ		× モ

・写真台帳で掲載した時の写真番号をそのまま転記すること。

平面図

側面図

断面図

・本調書は、E判定会議に使用する調書であるので、損傷判定が「e」となる損傷をピックアップすること。

・前回点検時にも損傷がある場合は、左右で経年劣化が読み取れるように工夫すること。

【原因と対策工法（案）】

・要因等が分かるものについては、対策工法も含めて記載する

損傷の種類	考えられる原因